

第8回 6月15日の講義内容

- ケース&ディスカッション(2)
 - 尺度構成法について

6/15/05

1

例) 車内マナーに関する意識調査

- サーストン尺度の構成
- リッカート尺度の構成

参考:「車内マナーに関する意識調査」2001年4月、
by (社)中央調査社

6/15/05

2

車内マナーに関する意識調査 (A) サーストン尺度の構成

- 質問文: 通勤電車での行為
 - a. 携帯電話で会話している人
 - b. お化粧をしている人
 - c. ヌード写真の載った新聞・雑誌を読んでいる人
 - d. 音が漏れる音量でヘッドフォンを聞いている人
 - e. 脚を投げ出して座っている人
 - f. 居眠りしている人
 - g. 飲食している人

6/15/05

3

判定者に評点

1. 絶対すべきでない
2. すべきでない
3. どちらかといえばすべきでない
4. どちらともいえない
5. どちらかといえば構わない
6. 混雑してないときならよい
7. 全く構わない

6/15/05

4

6/15講義後追加

判定者の評点分布

質問	評点分布							メディアン
	1	2	3	4	5	6	7	
a	4	6	4	2	1	1	1	2*
b	0	3	5	5	3	1	2	4*
c	0	1	3	1	6	6	2	5
d	6	9	1	2	0	1	0	2*
e	7	8	1	1	0	1	1	2*
f	0	0	1	1	0	3	14	7
g	0	1	6	4	1	6	1	4

かぶっているのをうまくバラ
つのように質問文を作り直す

双峰性を単峰性になるよう質問文を調整

6/15/05

5

車内マナーに関する意識調査
(B)リッカート尺度の構成

□ 同じ質問に対し

1. 構わない
2. 許してもいい
3. どちらともいえない
4. やめたほうがいい
5. 許されない

のリッカート5評点で回答してもらう。

6/15/05

6

6/15講義後追加

得点分布 (リッカート5点評点:OK1 NG5)

質問	回答者					
	1	2	3	...	...	...
a	4	2	4			
b	4	4	4			
c	2	4	4			
d	5	4	5			
e	4	5	5			
f	1	4	1			
g	2	4	3			
合計得点	22	27	26	...	...	...

各質問の得点の高低
25% (5人) ずつ取り出
して平均の差を検定
(GP分析)合計得点の分散と
各質問の得点分散
からクロンバックの
 α 係数を計算する

6/15/05

7